

東福鍛工 株式会社

小さなものから巨大なものまで
フリー鍛造で形にする

800tのプレス加工機



鍛造された大型部品



社屋工場

事業内容

業界に先駆け800t級大型プレス機を導入

昭和39年5月、田中一夫前会長がハンマーを用いた熱間自由（フリー）鍛造を手がける東福鍛工所を創業。昭和45年には組織を改め同社を設立した。その後、業界で先駆けとなる800tおよび500tの大型プレス機やスピンドル、マニピュレーターといった各種重機を導入。巨大なフックや玉受け作業用シャッフル、エンジン部品、各種ギアなど重さ50kg程度の小型部品から7t規模の大型部品まで、多種多様なプレス鍛造品を製造している。

社内一貫体制で品質管理
低価格・短納期化を実践

金型不要の熱間自由鍛造は、汎用工具で造形するため熟練技術が必要となる。同社では50年を超える経験と実績、蓄積された技術を駆使し、顧客の要望や課題にに応じている。また鋼材購入から切断、鍛造、熱処理、検査、配送までを社内で一貫して手がけ、徹底した品質管理と低価格・短納期化に取り組んでいる。

補助事業

実績のデータ化で「仕事の流れの見える化」を図る

平成28年の「ものづくり補助金」を活用し“在庫管理・見積もり受注分析システム導入による付加価値の向上”に着手した。きっかけは平成27年末、田中君枝副社長が経営を託されて直面した、社内の業務体制にあった。受発注記録や見積もりなどが紙で保管され、在庫は担当者が目視で確認する状況。熟練者の勘に頼るアナログ的な業務に将来への課題を感じたという。そこで実績のデータ化に挑戦。“仕事の流れの見える化”を図った。

取り組み姿勢が浸透、経営への期待感高まる

鍛造業に適したシステムを探る中、業務系システムの設計・開発・運用を請け負う、(株)コネクトファクトリー（兵庫県神戸市）と出会った。工程や受発注管理、分析ツールなどの必要条件を組み込んだ独自ソフトの開発を依頼した。導入当初、社内ではシステム化への抵抗が強かったが、今では取り組み姿勢が浸透。若い社員からは次代を展望する経営に期待の声も聞こえる。

具体的成果

在庫管理および見積り受注作業を省人化

新システムの導入により、適切な在庫管理と累計データの分析を実践。これにより個別発注の煩雑な見積もり時間を、従来の4〜5日から1日に短縮。革新的な納期改善が実現し、顧客との受注交渉を優位に展開できるようになった。また、在庫管理手法を従来の紙ベースから見積もり受注分析システムへ移行したことで、鋼材の在庫管理および見積り受注作業に関わる人材が、従来の5名から1名へと大幅に省人化された。

現場への要員シフトで生産性や品質が向上

各分野の管理業務で余剰になった作業員は、鍛造作業の現場へシフトすることが可能となった。結果、現場要員を従来の5名から7〜8名体制へ増強。人員増により全体の生産性が向上し、納期も大幅に短縮された。また、技術の伝承がスムーズに行える環境も整備したことで、メンバーの技術力が強化された。増員による作業員個々人の余力は、高品質追求への流れを創出し安定的な良品化に寄与している。将来にわたって安定した製品づくりを支える要因と言える。さらに過去の受注を分析することで、ホームページなどで需要期の製品PRを積極的に発信できるようになった。

今後の戦略

既存顧客の受注率を増加し
新規顧客の獲得を進める

見積りや受発注、鋼材の在庫管理をシステム化することで、今後も製品の短納期・高品質化を進展させコスト競争力を高めていく。また受注状況によって必要な鋼材を予測。常時適切な素材確保を実践し、顧客への納期提示を明確化する。こうした成果を生かし、既存顧客に対する受注率の増加を目指していく。さらに田中副社長は、「これまで短納期要請に応えられず取り逃がしてきた国内外の新規顧客への販売強化に力を入れていく」と語る。

今後メーカーとの直接取引に成長の糸口

同社のこれまでの業態は、商社やブローカーを介した営業展開が主体で、受注価格や納期で厳しい条件を突きつけられるケースが多かった。田中副社長は、システム化が進む業容を背景に、「今後はメーカーとの直接取引（営業）に成長の糸口を見いだし」と意気込む。顧客のニーズを的確に把握し、独自技術で優れた製品を提案する業態への変革を模索していく。さらに、企業として発展を果たし、適正な利益を確保するためには「誇りと自信を持った事業展開を可能にする環境作りが使命」と語る。

東福鍛工 株式会社

代表取締役 田中 成和
〒555-0041 大阪市西淀川区中島2-13-28
TEL. 06-6474-1248 FAX. 06-6471-7468
資本金/12,000千円 従業員/15名
主な取引先/製鋼所や造船メーカー、
各種機械設備メーカーなど
主な保有設備/加熱炉3基、大型油圧プレス機（800t、
500t）2基、油圧プレス機（15t）2台、
マニピュレーター2台、スピンドル3台など
主力製品/各種フックやロール軸、シャフト、
ギアなど熱間自由（フリー）鍛造品

短納期 企画力 小ロット OK オナーン技術 生産 OK 試作 OK 連携力

“不可能を可能にする”チャレンジを続ける

取締役副社長 田中 君枝

当社はフリー鍛造で東洋一を自負しています。卓越された職人の技術と最高の設備で、“不可能を可能にする”ためのチャレンジを続けています。



取材を終えて

経営者の熱意に
将来への飛躍を確信

フリー鍛造は量産目的の型鍛造と異なり、多種少量品に特化した生産方式。寸法や形状などの成形作業に加え、製品に鍛錬効果を与える高い技術と経験が必要となる。東福鍛工は小型から大型製品まで広範な加工力を有し、難しい形状や製品特性を生み出す技術力で評価が高い。ただ業界を取り巻く環境は刻々と変化している。「この技術を衰退させる訳にはいかない」と一念発起し、業容の変革に取り組む若い経営者の熱意に将来への飛躍を確信した。

<http://www.toufuku-tankou.co.jp/>